

自校の「館報」をもう一歩先に

毎年行われている図書館報コンクールは毎年参加校が増え、今では40校ほどのエントリーがあるようになりました。また、その内容も着実にレベルアップしてきています。参加作品は全て大会の会場に掲示され、互いに読むことができます。

でも、読むだけではその場で「ああしたい」「こうしたい」と思っている、学校に戻って館報を作る段階になるって、思い出せなかったり、面倒くさくなったりしてしまいますよね。

そこで、それぞれの学校の「一番いい館報」を持ち寄ってみませんか？100校あれば100校それぞれに良いところがあります。自分の学校に戻って他の生徒と他校の館報を見ながら、どうしたら生徒に読んでもらえるのか、どんな工夫が自分たちにはできるのかを考えてください。自校の館報をより良いものにしてみませんか？

さあ、館報でも交流をしましょう。たくさんの参加をお待ちしています。

館報持参要領

- (1) 用紙サイズ・カラー白黒など問いません。「一番の自信作」を持ってきましょう。
- (2) 館報名はもちろん自分の学校名を必ず記載しましょう。記事に関して後日、質問が来るかも？
- (3) 館報はコンクールに出している作品でも出していない作品でも構いません。自分たちで作成したものを1号だけを持ち寄ってください。
- (4) 各学校に1部ずつ持って行ってもらうために100枚印刷してきてください。
- (5) 著作権への配慮も大切です。本の表紙などを載せる場合は、出版元へ許諾申請しましょう。申請方法は出版社ごとに様式などは違いますが、基本は同じです。オリジナルのイラストなどを使って、独自色を出すのも一興です。

館報持参要領

この交流企画はコンクールではありません。順位も賞もありません。図書館報コンクールに参加しなかった学校もどんどん参加してみましよう。

※出版社によっては様式が決まっているところあります。確認をしてください。

著作物利用許可申請書

年 月 日

出版元名

申請者名

団体名 北海道〇〇高等学校図書局 (委員会)

〒

住所

電話

FAX

E-mail

下記のように著作物を利用したく、申請いたします。

1. 利用したい著作物

作品名・書名	
作者名	
出版社名	

2. 利用形態・目的

例) 本の表紙を図書館報に載せたものを、全道高等学校図書研究大会にて他校へ配布する

3. 利用方法

対象者 人数	90校 500名	会場	北見市 (北見市民会館)
主催者	北海道高等学校文化連盟		
入場料等	無料	謝礼	なし
使用期間	10月8日・10月9日		

出版社使用欄

- ・上記の著作物利用については、著作権者に無許諾で使用できます。
- ・上記の著作物利用については、著作権者より回答がありました。

・許諾します ・許諾しません

但し、以下のことを条件とします。

年 月 日

出版社名

〒住所

電話

FAX

担当者名